

はじめに

『希少例と特殊像がわかる！—エコーの撮り方 完全マスター』が完成しました。本増大号は、好評を博した2013年増刊号『解剖と正常像がわかる！—エコーの撮り方 完全マスター』、および2015年に発刊した書籍『疾患と異常像がわかる！—エコーの撮り方 完全マスター』の続編で、応用編という位置づけです。この「応用編」では、普段、なかなか経験できない希少例を通して、エキスパートの見方、撮り方、考え方のノウハウを伝授し、さらにレベルアップしていただくことを目的としています。

本増大号は、各領域の希少例や特殊なエコー像を一度に見ることができ、各疾患の撮り方がわかり、レポートが一人で書けるようになる“症例集&レポート集”のような構成になっています。具体的には症例ごと(あるいはテーマごと)に、①疾患(病態)の解説、②解剖図・エコー写真・シェーマの3点セット、③この画像からわかるエコー所見、④この画像以外のエコー所見、⑤本症例のまとめ、⑥ワンポイントアドバイスを基本構成とし、筆者の伝えたいこと、想いを、⑤、⑥に詰め込んでもらっています。

毎日、たくさんの症例を経験し実力がついてくるとエコー検査が楽しくなってきます。そして、勉強すればするほど実力が増していきます。しかし、ある時点でスランプのような伸び悩む時期が訪れるはずです。これを打破するためには、より高みを目指す意思が必要です。そのためには、エキスパートと言われる人たちが、どうやってそれを克服したかを知るのが近道であり、自ら学会や講習会に出かけること、そして本増大号のようなテキストで学ぶことが大切です。本書にはそのヒントがたくさん書かれています。

エコー検査に従事している皆さんは、たくさんの疾患に出会い、同じ疾患でも多様な病態があることを知ったことでしょう。そして、何年経っても今までに経験したことのない症例に出会うはずです。本書がそういうときにお役に立てれば、大変うれしいです。

たねむら ただし
種村 正

仙波内科医院／前 公益財団法人 心臓血管研究所付属病院臨床検査室